

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツの振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県体育協会		
指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日	施設所管課	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>提案に基づく開館日の拡大や誰もが参加しやすい様々なスポーツ教室の開催を通じて、利用者の拡大を図ったものの、利用状況の評価結果、利用者の満足度の評価結果及び収支状況の評価結果がそれぞれB評価となったことから、平成27年度の3項目評価についてはB評価とした。次年度は、広報やイベント等の告知方法を工夫するとともに、利用者から好評を得ているスポーツ教室等の取組を拡充したり、利用者からの要望を踏まえたイベントを企画・運営する等、リピーターはもとより新規の利用者層を開拓することにより、更なる利用者数の増加と利用者満足度の向上を図ってもらいたい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づく開館日の拡大や誰もが参加しやすい様々なスポーツ教室の開催を通じて、利用者の拡大を図った。また、維持管理業務についても、体育館や多目的室の利用者の怪我や事故防止を図るため、適切な指導やサポートを実施した。利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、常に利用者目線に立った施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 利用者からの意見・要望を踏まえた施設運営に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率93.7%となり、B評価となった。利用者数が目標値には届かなかったものの、多様なメニュー構成によるスポーツ教室等が好評を博していることから、前年度対比では利用者数が0.1%(対前年度比58人の利用者数増加)のプラスとなった。当該スポーツ教室等への集客力を高めるため、広報やイベント等の告知方法を工夫してほしい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と翌年3月に実施し、上位2段階の回答割合が68.3%となったためB評価となった。回収率は、利用者に対するアンケート協力の呼び掛けに努めた結果、93.9%と高くなった。</p> <p>◆収支状況 前指定期間に比べ3,542千円の指定管理料が減ったことと、利用料金収入が伸び悩んだため収入増には繋がらなかった。一方で経費節減には努めたものの、利用者の増加に比例して主として光熱水費が増大した影響から、収支差額は110千円のマイナスとなったためB評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設の経年劣化、老朽化による故障、破損に関する要望など指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。</p> <p>◆事故・不祥事等 職員による日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成27年度の3項目評価についてはB評価とした。前指定管理期間に比べ3,542千円の指定管理料が縮減された中で管理運営を行っているため、3項目評価は「一部改善が必要」とされるB評価となったが、今後は、利用者から好評を博しているスポーツ教室等の取組を拡充したり、利用者からの要望を踏まえたイベントを企画・運営する等、更なる利用者数の増加や利用者満足度の向上を図ってもらいたい。</p>

3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成27年4月24日	
	平成27年11月2日 平成28年2月10日	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント																																																									
年末年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始	提案どおり、開館日を38日拡大 4月6・13・27・30日 5月7・11・25日 6月1・8・22・29日 7月6・21・27日 8月3・10・24・31日 9月14・24日 10月5・13・26日 11月4・24・30日 12月7・21・24日 1月4・12・25日 2月1・8・12・22・29日 3月22日																																																										
人材育成（職員育成・研修）	利用者サービスの向上に資するため、各種研修会を実施した。 第1回：平成27年4月1日～31日 初めて窓口対応をする職員向け、予約システムの使用方法・受付方法の研修 第2回：平成27年9月17日 視覚障害者の誘導方法 第3回平成28年3月31日 心肺蘇生法・AED使用法 その他、かながわシェイクアウトに参加																																																										
施設の維持・管理について	経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた。																																																										
スポーツ教室の開催(自主事業)	<table border="0"> <tr><td>硬式卓球</td><td>3期</td><td>77名</td></tr> <tr><td>ラージ卓球</td><td>3期</td><td>66名</td></tr> <tr><td>ダンススポーツ(2クラス)</td><td>3期</td><td>44名</td></tr> <tr><td>幼児体操(3クラス)</td><td>3期</td><td>148名</td></tr> <tr><td>幼児体操(夏休み)</td><td>1期</td><td>21名</td></tr> <tr><td>小学生体操(夏休み)</td><td>1期</td><td>28名</td></tr> <tr><td>ストレッチ体操</td><td>年8回</td><td>62名</td></tr> <tr><td>ヨーガ</td><td>3期</td><td>46名</td></tr> <tr><td>フローヨーガ</td><td>3期</td><td>32名</td></tr> <tr><td>ヨーガ(夏)</td><td>1期</td><td>24名</td></tr> <tr><td>ナイトヨーガ</td><td>3期</td><td>43名</td></tr> <tr><td>ナイトヨーガ</td><td>1期</td><td>7名</td></tr> <tr><td>ジュニアテニス(6クラス)</td><td>3期</td><td>258名</td></tr> <tr><td>ジュニアテニス(夏)</td><td>1期</td><td>37名</td></tr> <tr><td>親子英語リトミック</td><td>3期</td><td>144名</td></tr> <tr><td>英会話</td><td>3期</td><td>38名</td></tr> <tr><td>トレーナー研修会</td><td>3期</td><td>60名</td></tr> <tr><td>スポーツに関する講演会</td><td>1回</td><td>69名</td></tr> <tr><td>健康体力アップ</td><td>3期</td><td>50名</td></tr> </table>	硬式卓球	3期	77名	ラージ卓球	3期	66名	ダンススポーツ(2クラス)	3期	44名	幼児体操(3クラス)	3期	148名	幼児体操(夏休み)	1期	21名	小学生体操(夏休み)	1期	28名	ストレッチ体操	年8回	62名	ヨーガ	3期	46名	フローヨーガ	3期	32名	ヨーガ(夏)	1期	24名	ナイトヨーガ	3期	43名	ナイトヨーガ	1期	7名	ジュニアテニス(6クラス)	3期	258名	ジュニアテニス(夏)	1期	37名	親子英語リトミック	3期	144名	英会話	3期	38名	トレーナー研修会	3期	60名	スポーツに関する講演会	1回	69名	健康体力アップ	3期	50名	今期から、公益財団法人神奈川県体育協会の本来業務であった「スポーツ教室の開催」と「スポーツ指導員養成・育成講習会の開催及び生涯スポーツ研修セミナーの開催」を指定管理者制度における自主事業に位置付け、より多彩なプログラムを展開することにより、多くの参加者を募ることができた点、評価できている。 特に2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を念頭に、新たな講座メニューを設けた英語教室は、利用者から好評を博している。
硬式卓球	3期	77名																																																									
ラージ卓球	3期	66名																																																									
ダンススポーツ(2クラス)	3期	44名																																																									
幼児体操(3クラス)	3期	148名																																																									
幼児体操(夏休み)	1期	21名																																																									
小学生体操(夏休み)	1期	28名																																																									
ストレッチ体操	年8回	62名																																																									
ヨーガ	3期	46名																																																									
フローヨーガ	3期	32名																																																									
ヨーガ(夏)	1期	24名																																																									
ナイトヨーガ	3期	43名																																																									
ナイトヨーガ	1期	7名																																																									
ジュニアテニス(6クラス)	3期	258名																																																									
ジュニアテニス(夏)	1期	37名																																																									
親子英語リトミック	3期	144名																																																									
英会話	3期	38名																																																									
トレーナー研修会	3期	60名																																																									
スポーツに関する講演会	1回	69名																																																									
健康体力アップ	3期	50名																																																									

スポーツ指導員養成・育成講習会の開催 及び生涯スポーツ研修セミナーの開催（自主事業）	○日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会 2講座 卓球競技 参加者 34名 バドミントン競技 参加者 23名 ○日本体育協会公認スポーツ指導者を対象に資質向上を目的とした研修会 1講座 89名 ○生涯スポーツ研修セミナー 救急法講習会 参加者 31名
外部諸機関との連携	○スポーツ教室は、大学・本会加盟団体より一部講師派遣等協力を得て開催。 ○スポーツ指導員養成講習会は、神奈川県卓球協会・神奈川県バドミントン協会の協力を得て開催。 ○救急法講習会は、日本赤十字社神奈川県支部より指導者派遣等協力を得て開催。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
4. 管理運営等の状況（スポーツ教室の開催、スポーツ指導員養成・育成講習会の開催及び生涯スポーツ研修セミナーの開催）のとおり	同左

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	40,686	43,043	43,101
対前年度比		105.8%	100.1%
目標値	46,000	46,000	46,000
目標達成率	88.4%	93.6%	93.7%

目標値の設定根拠： 過去数年間の利用者を参考に算定し決定

利用者数の算出方法（対象）： 団体は利用報告書に人数を記載、
個人利用は利用申込書で人数を確認

[参考：最大利用可能人数／年] ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
B	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回を9月と翌年3月に調査	協定に定めた年間2回を9月と翌年3月に実施した。結果として、昨年と同程度の回答数を得ているが、引き続き、利用者とのコミュニケーションを積極的に図っていききたい。

[施設としての総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○を付けてください（総合評価）。

実施した調査の配布方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数／配布数 413 / 440 = 93.9%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらか といえば 満足	ふつう	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	78	200	121	8	0	407	・トイレを洋式化してほしい。 ・バドミントンのボールを新しくしてほしい。
回答率	19.2%	49.1%	29.7%	2.0%	0.0%		
前年度の 回答数	79	196	112	4	0	391	
前年度回答率	20.2%	50.1%	28.6%	1.0%			
回答率の 対前年度比	94.9%	98.0%	103.8%	192.1%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○を付けてください（接客対応）。

実施した調査の配布方法 窓口で配架、利用者等に直接配布 回収数／配布数 413 / 440 = 93.9%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらか といえば 満足	ふつう	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	130	152	123	5	1	411	・対応がとても素晴らしい。
回答率	31.6%	37.0%	29.9%	1.2%	0.2%		
前年度の 回答数	79	196	112	4	0	391	
前年度回答率	20.2%	50.1%	28.6%	1.0%	0.0%		
回答率の 対前年度比	156.5%	73.8%	104.5%	118.9%	#DIV/0!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	21,322	1,801			23,123	23,123	0	100.00%
	決算	21,322	2,392			23,714	23,745	-31	99.87%
前年度	当初予算	21,932	2,500			24,432	24,432	0	100.00%
	決算	21,932	2,650			24,582	24,456	126	100.52%
27年度	当初予算	18,390	2,497			20,887	20,887	0	100.00%
	決算	18,390	2,568			20,958	21,068	-110	99.48%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成28年2月	3,059	非常用照明器具取替工事(3,058.6千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
	電話	1 件		
施設・設備		件	節電のために閉めていた正面玄関口の自動ドアを開放してほしい（稼動してほしい）との要望が県に寄せられた。	利用者からの要望を真摯に受け止め、自動ドアを開放した。
職員対応		件		
事業内容		件		
その他		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
平成27年10月10日	廃棄物収集運搬車による駐車場ポールへの破損	運転者による後方不注意	①事故後速やかに廃棄物処理業者の担当者に連絡し現場確認。同業者の費用負担で修理の手配を行い現状復帰した。同業者に対しては、駐車場への出入りの際、十分に注意する旨を伝えた（県へ連絡）。 ②－ ③業者の不注意によるもの。後日、同業者の費用負担により現状回復（平成27年11月11日）
平成28年2月23日	体育館の利用団体の一人が、バドミントンの練習中にシャトルが目につかり負傷	スポーツ中のアクシデント	①利用者に目眩や吐き気の症状があったので、救急車を要請し病院へ搬送（県へ連絡）。 ②－ ③スポーツ中のアクシデントによるもの。検査の結果、異常は見られなかった。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。